

会務報告

令和3年	
7月18日(日)	●令和3年度第1回支部長会
28日(水)	●神戸市歯科口腔保健推進懇話会*
31日(金)	●8月三役会
8月4日(水)	●公益法人検査
7日(土)	●第38回兵庫県小児保険協会総会
12日(木)	●第1回兵庫県歯科衛生士センター運営協議会
19日(木)	●兵庫県第1回フレイル対策ハイリスクアプローチ検討会議
21日(土)	●特別委員会(勤務実態調査)
27日(金)	●兵庫県知事への要望書の提出
9月4日(土)	●9月三役会・特別委員会(勤務実態調査)
7日(火)	●第1回神戸市歯科医師会、神戸市健康局との連絡協議会 兵庫県歯科衛生士会連絡協議会
11日(土)	●第3回理事会
12日(日)	●歯科医学大会*
10月1日(金)	●第1回近畿府県合同防災訓練 医療・救護部会
2日(土)	●10月三役会・特別委員会(勤務実態調査)
7日(木)	●第1回兵庫県歯科医師会・兵庫県との復職支援検討会議 *一部
16・17日(土・日)	●ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバルin神戸
21日(木)	●芦屋市介護保険課との打ち合わせ
22日(金)	●芦屋市歯科医師会との協議会
29日(金)	●兵庫県第1回8020運動推進部会 →兵庫県歯と口の健康づくり部会に変更 第1回歯及び口腔の健康づくり推進条例(仮称) ワーキング部会
11月2日(火)	●神戸市歯科医師会・兵庫県歯科衛生士会連絡協議会
3日(水)	●神戸市フッ化物塗布モデル校実施のための意見交換会
6日(土)	●定例監査会
7日(日)	●11月三役会・常務理事会
7日(日)	●「災害時に活かせる健口手帳」の作成に向けた検討会議
13日(土)	●第4回理事会
14日(日)	●日本歯科衛生士会近畿ブロック連絡協議会*
18日(木)	●兵庫県第1回妊産婦・子どもの歯科保健対策推進会議
20日(土)	●兵庫県公衆衛生中央研究会
25日(木)	●第2回兵庫県小児保険協会理事会
26日(金)	●第2回歯及び口腔の健康づくり推進条例ワーキング部会
12月4日(土)	●12月三役会・特別委員会(定款及び諸規則)
5日(日)	●日本歯科衛生士会主催災害歯科保健歯科衛生士フォーラム*
9日(木)	●第2回兵庫県歯科衛生士センター運営協議会 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会理事会
12日(日)	●兵庫県プライマリ・ケア協議会
14日(火)	●介護予防・生活支援推進会議*
17日(金)	●第2回兵庫県歯と口腔の健康づくり部会
22日(水)	●神戸市フッ化物塗布モデル校実施のための意見交換会
23日(木)	●第2回兵庫県医療職団体協議会
1月8日(土)	●1月三役会・特別委員会(定款及び諸規則)
9日(日)	●第2回災害時に活かせる健口手帳の作成に向けた検討会議
12日(水)	●神戸市地域包括ケア推進部会
15日(土)	●令和3年度第1回健康長寿延伸のための「介護予防」専門部会* ●第5回理事会 *(Web会議)



\\ ご存じですか? //

福祉給付金の請求は
年度内にお済ませください兵庫県歯科衛生士会と日本歯科衛生士会では、
本会員対象の福祉給付金制度があります。

- | | |
|-----|---|
| (1) | 兵庫県歯科衛生士会
給付の種類 死亡弔慰金、災害見舞金など |
| (2) | 日本歯科衛生士会
給付の種類 死亡弔慰金、災害見舞金、
入院見舞金など |

詳しくは、本会ホームページでご確認ください。

第5回 歯科衛生士勤務等実態調査
ご協力のお礼

昨年11月の発送でお願いした本調査にご協力いただき、ありがとうございます。

今回は初めてのWeb調査と紙面調査で、現在集計中です。まとまり次第、兵衛だよりと本会HPでご報告する予定です。今後とも事業の運営にご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

年末年始はコロナもすっかり落ち着いていましたが、オミクロン株が確認されるとあれよあれよという間に、ついに第6波に突入しました。みなさんいかがお過ごしでしょうか? こだわっているわけではないのですが、私は昔からコーヒーが好きです。コロナ禍ということもありおうち時間を楽しむため、久しぶりにいろいろなコーヒー豆を買ってミルで豆を挽いて飲んでいます。同じ豆でも粗さによって味が変わるんですよね。おいしいコーヒーを求めてカフェ巡りをしたいところですが、はやくコロナが落ち着くことを願うばかりです。さて、広報・情報管理委員会では兵衛だよりをみなさんに楽しんでいただけるよう様々な内容をお届けしてまいります。より良いものになるよう皆様のご意見ご感想をお寄せください。

兵衛だより

新年を迎えて

環境の変化に打ち勝つ、
柔軟で強い歯科衛生士の精神力と魅力公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
会長 高橋 千鶴

新年を迎え、会員やご家族の皆様が健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今年に入り、感染症が収束に向かっていと期待していたところですが、変異を繰り返しながら第6波を迎えようとしています。世界情勢が不安定な状況下において、歯科界を取り巻く状況についても同様な様相を呈しています。

一昨年に報道された感染するリスクの最も高い職種として歯科衛生士が取り上げられていましたが、この約2年間にクラスターが報告されていないことから、歯科診療所等における感染対策が平時から徹底していることや、最も患者に寄り添い長く接する可能性の高い歯科衛生士の感染予防対策が、専門職としての高い知識や手技だけでなく、一方で精神力の強さの表れとと思っています。歯科衛生士が専門職として就業しているさまざまな就業先においても、何事にも対応する、対応しようとする柔軟で強い精神力は、他の職種を遥かに超えているように思います。

しかし、どのような場合においても、自らの身の安全を最優先に考える上に成り立っていることも忘れてはならないことです。

本会では、昨年末より兵庫県が「健康づくり推進条例」を歯科単独条例の移行に向け開催された「歯と口腔の健康づくり推進会議」「ワーキング部会」や「兵庫県健康づくり推進プラン(第2次)」に出席し、専門職としてかなり踏み込んで提案をしました。また、「ひょうご健口長寿県民シンポジウム」では、県民に知ってもらいたい歯科衛生士の活躍の場の一部を紹介しました。

この条例が制定されれば、県民への生涯を通じた取り組みを強化することとなり、歯科口腔保健医療の提供にさまざまな好影響を与えるであろうと期待すると同時に、本会がさまざまな活動に対応できる力を身に付けておくことも必要になってきます。

今年度末までの事業は、歯科衛生士勤務等実態調査の報告や従来の形を変えた研修会を開催する予定をしています。

また、兵庫県の委託を受けて、昨年からの継続事業として行っている兵庫県歯科衛生士センター事業は、運営協議会、市町説明を終え、研修会等の一部を残して計画どおり実施しています。

12月末で、登録者数は、318名(うち、会員外52名)で、残りの事業は、支部強化のための事業を展開する予定をしています。

令和4年度事業は、理事会において5年以上の事業の内容の見直しを行い、計画案を審議しています。今後の情報は、リニューアルした本会HPや新設した兵庫県歯科衛生士センターHPで配信しています。会員ページは、2月下旬頃に完成する予定です。会員の皆様への情報は、一人一人の就業や活動に役立つように、HPや発送物等で発信していきます。

今年の抱負は、次の5項目です。

- 1 地域に貢献している支部活動を見える化し、魅力ある会として発信する。
- 2 次世代歯科衛生士へ持続可能な継承を行う。
- 3 職能別業務の分析と新たな展開を考える機会を持つ。
- 4 情報配信と新たな活動につながる声を聴く。
- 5 豊富なベテラン歯科衛生士ならではの新たな分野を開拓する。

会員の皆様により、さまざまな事業を通じて一歩でも前進し実現できるように役員及び各委員会、事務局等が一体となって運営をしていきたいと思っていますので、更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

表彰

今年度を受賞された会員です。
おめでとうございます。令和3年度
兵庫県公衆衛生協会長表彰

栗原 知子 (敬称略)

公益社団法人
兵庫県歯科衛生士会〒650-0003 神戸市中央区山本通5-7-18 兵庫県歯科医師会館3F
TEL 078-341-6471 FAX 078-945-7871
E-mail: hdha@silver.ocn.ne.jp https://hyogo-dh.or.jp兵庫県歯科衛生士会
事務所内兵庫県歯科衛生士センター
https://hyogo-dh.or.jp/dhc
登録もこちらからどうぞひょうご歯科衛生士
人材センター無料職業紹介所

http://zinzai.hyogo-dh.com

第8回 歯科衛生学術フォーラム 「循環器疾患患者さんへの 対応について」 専門研修

日時 令和3年11月21日(日)10:00~16:00
開催方法 配信型

第1部 歯科衛生学術研究会 10:00~12:00

大学生における
う蝕リスク検査の有効性

阪神南支部
白水 雅子 氏



阪神南支部における
災害支援歯科衛生士研修会
(初級編)の開催報告

阪神南支部
紺谷 祐子 氏



兵庫県歯科衛生士センターの
創設・運営報告

東播磨支部
都倉 美佐代 氏



中学生から社会人につなぐ『Smile-up』
リーフレットの作成と活用の展開

西播磨支部
森田 好美 氏



在宅生活を送る
遷延性意識障害患者への介入
～本人・家族に寄り添う口腔健康管理～

東播磨支部
岩崎 小百合 氏



明和病院の
周術期等口腔機能管理の現状

阪神南支部
谷脇 菊栄 氏



障害者歯科に特化し新設された
あかしユニバーサル歯科診療所

中播磨支部
茂末 咲子 氏



兵庫県のオーラルフレイル対策の
取り組みについて

丹波支部
小前 みどり 氏



第2部 シンポジウム 13:00~16:00



◆基調講演会 13:00~14:00

「口腔外科治療における
循環器疾患患者への対応」

講師:橋 進彰 氏
加古川中央市民病院
歯科口腔外科主任科部長



◆シンポジスト講演・意見交換 14:10~16:00

「当院における
循環器疾患患者への対応①」

歯科医師:森本 哲司 氏
医療法人社団 森本歯科医院(院長)



「当院における
循環器疾患患者への対応②」

歯科衛生士:三木 裕子 氏
医療法人社団 森本歯科医院



「循環器疾患患者さんへの対応について」

慢性心不全認定看護師:小國 恵子 氏
姫路循環器病センター



「循環器疾患でのフレイル対策・
心臓リハビリテーション」

理学療法士:小川 真人 氏
神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部



今年度は、1日を通しリモート配信で開催しました。午前中の歯科衛生学術研究会は48名、午後のシンポジウムは58名の参加がありました。

歯科衛生学術研究会では8題の口演発表があり、研究の成果や日々の業務のまとめ、新たな取り組みなどの発表がありました。

シンポジウムは「循環器疾患患者さんへの対応について」をテーマに、基調講演では橋先生より、循環器疾患の基礎知識や歯科治療時の注意点、使用される頻度の高い薬の特徴などについてご講演いただきました。続いての4人のシンポジスト(歯科医師・歯科衛生士・看護師・理学療法士)の発表から、安心・安全な歯科治療のために定期的な全身状態の問診やモニタリングが重要であること、心不全の病態や心不全患者のフレイル対策、心臓リハビリテーションについて知識を深め、多職種チームで関わることの大切さを学びました。歯科衛生士もチームの一員として専門性を発揮することでより良い医療の提供につながると感じました。

リモート開催でしたが、受講者からの質問が多数寄せられ活発なディスカッションとなり、とても有益な研修となりました。

本会初の名誉会員のご紹介

本年度総会で推挙された渡辺須美江様、石川裕子様、榎村實枝様へ、初めての名誉会員として、長年にわたり本会及び歯科保健業務の発展にご功績のあった方に贈る栄誉の称号として名誉会員証を授与いたしました。本会の礎を築いていただきましたことに深く感謝申し上げます。更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。



渡辺 須美江 様



石川 裕子 様



榎村 實枝 様

卒後研修必修プログラム 基礎研修

10月にベーシックコースI-3、アドバンスコースII-3、11月にベーシックコースI-4、スペシャリストコースIII-1、12月にスペシャリストコースIII-2をもって、令和3年度卒後研修必修プログラムは終了となりました。この時期は兵庫県の緊急事態宣言解除とはいえ感染対策を万全にしての集合型そしてリモート型を開催、多くの方に受講していただきました。ベーシックコースは全身と口腔の様々な関連の学習、自己管理や自己啓発に研鑽する学習、アドバンスコースは高齢化社会のニーズに対応できる歯科衛

生士の様々な分野の役割を学習、スペシャリストコースは受講生の方の経験を活かし未来の歯科衛生士へ繋ぐ学習、活気あふれるグループワークなども行なっていました。

令和3年度は、延べ303名の方が受講され、各コースの修了者は54名となりました。新年度の開始はまだ新型コロナウイルス感染症拡大の懸念も多く開催も危惧しておりましたが、前年度のベーシック開催中止に会員の方からの強い開催要望をいただき、今年度は更に本会運営マニュアルを再構築して卒後研修必修



CO2測定器を設置しています

プログラムの全開催に挑みました。今後も、卒業後に悩む歯科衛生士の問題解決の場、復職に自信がない歯科衛生士の学習の場、キャリアアップを目指す歯科衛生士の支援を続けていきます。来年度の皆様の受講を活気あふれ気軽に参加できる研修会としてお待ちしております！

ベーシックコース		アドバンスコース		スペシャリストコース	
I-3 10月3日(日)	I-4 11月7日(日)	II-3 10月24日(日)	III-1 11月28日(日)	III-2 12月5日(日)	
リモート	リモート	のじぎく会館	歯科医師会館	神戸教育会館	
薬剤と有病者と全身管理	兵庫県の歯科保健の現状	要介護高齢者の特性と社会背景	歯科保健医療を取り巻く現状	診療所における指導計画立案	
障害児(者)への対応	高齢者施設における口腔機能管理	口腔機能低下症	コーチング	指導計画立案の実際	
周術期の口腔機能管理	メンタルヘルスケア	栄養管理	職場環境について	災害支援歯科	
生体機能管理技術	生涯研修制度と認定歯科衛生士	食支援	メンタルヘルスケア	歯科衛生士としての働き方	

— 兵庫県歯科衛生士センター主催 —

令和3年度 専門性向上研修会 ～初のサテライト開催～

日時 令和3年12月12日(日)13:00～15:00

場所 **メイン会場** 神戸会場 兵庫県歯科医師会館
サテライト会場 中播磨会場 姫路市勤労市民会館(姫路市)
但馬会場 兵庫県立但馬長寿の郷(養父市)

①「注意欠如・多動症(ADHD)のお子さんへの歯科的対応」

村上 旬平氏

大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 講師、外来医長、歯科医師

② フリートーク(各会場ごと)

・対応に困ったこと ・気をつけたこと ・体験談 など

初のサテライト開催となりました。メイン会場からZoomにてサテライト会場に配信し、3会場で同時に受講することができました。サテライト会場では、パソコン・Wi-Fiなどの通信環境やプロジェクター・スクリーンなどの設備を事前準備し当日のぞみました。メイン会場までは遠く「家の近くで研修を受けられたらいいな」と希望していた方々もメイン会場と同じように受講ができました。

講義は「ADHDとは？」から始まり、歯科治療時や歯科保健指導時の患者さ

んへの対応を学びました。「患者さんの苦手なもの、得意なものを知り対応の工夫をすること」「行動の背景にある気持ちと感覚を考えると」はどのような患者さんに対しても大切なことだと感じました。フリートークでは顔を合わせた参加者同士で体験をもとにした意見交換ができました。

今後も生涯を通じて歯科衛生士として働くための支援の一つとして、兵庫県内のどの地区でも「研修を受けたい」という希望を現実に行きたいです。



村上 旬平氏



サテライト会場より

中播磨会場

少人数のリラックスした雰囲気でのフリートークを行いました。充実した密度の濃い研修会でした。

但馬会場

神戸まで講義を聴きに行くのは、とても遠くていつも大変でしたが、家から近いところで研修会に参加できうれしいです。

(各会場の研修会のような「兵庫県歯科衛生士センターホームページ」をご覧ください。)



ふれあいフェスティバル in 神戸 “BE KOBE みんなではじめる歯っぴー★健口ライフ” ～元気なお口は一生の宝～

普及啓発委員会と神戸支部との合同開催

日時 令和3年10月16・17日

場所 メリケンパーク(神戸市内)

主催 兵庫県

内容 歯科相談、歯みがき指導、「50歳からのオールフレイル予防」のパネル展示



かわいいお客さま

コロナ禍で、さまざまな催事の中止や延期が続いていたので、今回はクイズラリーやエプロンシアター、歯科相談等を行い、多世代に口腔や口腔機能の大切さを伝えたいと計画を進めていましたが、緊急事態宣言の発出、蔓延防止措置な

どの経緯があり、当日は緊急事態宣言が解除されていたものの、感染対策のため、規模を縮小しての開催となりました。

パネルの展示、口腔衛生用品や歯磨きカレンダー付のキシリトールガムなどを配布しながら、口腔健康管理の大切さをお伝えしました。中には展示していた媒体を見て、ご自身のお口のことを相談されるケースも見られました。

16日は視察に来られた齊藤知事と記念撮影を行い、新知事と交流することができました。17日は、曇天で強風、かなり冷え込む1日でしたが、初日を上回る人

出となり、両日で2,000人余りが来場し盛況のうちに終えることができたのは喜ばしい限りです。

まだまだ、コロナウイルス感染症は身近にありますが、少しずつ以前の生活に戻りつつあることを実感した2日間でした。【神戸支部 支部長 山口玲子】



マスクの下は満面の笑顔です



会場ゲート

のぞいてみよう委員会活動 ～地域保健企画委員会編～

今年度、兵庫県歯科衛生士会では常任委員会を再編し活動しています。

新しい委員会では、どのような事業を行っているのでしょうか。皆さんに代わり委員会活動をのぞいてきました。

【地域保健企画委員会】 森田 好美 理事

一地域保健企画委員会が活動を初めて半年余りたちますが、地域保健企画委員会はどのような活動を行っているのですか。

私たちの委員会では、市町の歯科保健事業や地域の歯科医療機関で様々な歯科保健活動を担っている歯科衛生士の知識の向上をめざして、歯科保健体制の整備を行っています。平成30年には非常時における歯科保健活動の指針となる「災害時行動指針」を作りました。また、例年、災害時への備えとして災害支援歯科衛生士研修会を企画していますが、今年度は令和4年2月27日(日)にリモートでの研修会を開催します。

一今年度は、非常時にいかす「わたしの健口手帳」(仮称)の作成をされているとお聞きしましたが、きっかけは何ですか？

「災害時」に備えた口腔に関する手帳は、これまでお口のケアノートを活用してきましたが、今回見直しを進めるうちに自然災害だけでなく、コロナ感染拡大による感染や入院、施設入所など「非常時」が様々なことに気がつきました。そこで、この1冊あれば様々な職種に活用できるものを作ろうと意見がまとまりました。



一そうなんです、作業はどのように進んでいますか？

兵庫県歯科医師会から梅村常務理事に参加していただき、これまでに検討委員会を2回開催し健口手帳の目的、活用方法、内容などについて検討しました。その他にリモートによる委員会会議を開催し追加や修正など意見を出し合いながら原稿を作成しました。

一この手帳のアピールポイントについて教えてください。

一つ目は多職種が活用できる健口手帳ということです。これまで、歯式、口腔状態を記入するノートや手帳はあったかもしれませんが、災害時や入院、要介護など、日常生活が困難になった時に、行政や様々な職種が関わることになり、全身の健康、既往歴、介護状況、かかりつけの歯科・内科、服薬の情報など様々な情報が必要となります。特に、高齢者世帯においては、聞き取りが困難な場合もありますので、これらの情報を、平時から健口手帳に記載しておくことで、非常時に迅速な対応と連携をすることが可能となります。

二つ目は配布する対象者は子供から高齢者になりますので、すべてに分かりやすい表現にしました。そして、日常的に使っていただくことが、非常時の活用につながる手帳となるように、平時からの心がけと非常時の問題点を記載しました。



検討会の様子

一出来上がりが楽しみです、私たちが手にするのはいつ頃になりますか？

先ほど申し上げたように、2月27日の研修会では、皆さんに健口手帳の説明をさせていただく予定です。

出来上がった手帳を手にして頂くのは4月の会員発送になる予定ですので、もう少しお待ちください。

手帳の活用方法については、勤務先の歯科医療機関や施設、行政、また機会があれば地域包括支援センターなどで県民の方々に活用の周知をしていただきたいと思います。皆さんが健口手帳の特徴を理解し、まず、自分の周りから使ってみてください。

一ぜひ、普段から使っていきたいと思います。本日はお忙しいところありがとうございました。

健康公開講座

日時 令和3年12月19日 14:00~16:00
開催方法 配信型

「いつまでもお口から食べる喜び それを支える歯科衛生士」

金子 信子 氏
なほ歯科衛生専門学校
平成野田歯科クリニック・歯科衛生士

今年度は、施設や在宅などで人生の最終段階を迎えている方の口腔健康管理と食支援を中心に活躍されている歯科衛生士の金子先生にリモートで講演いただきました。歯科衛生士に加え、介護・障がい者施設・ケアマネ・看護師・薬剤師・一般の方143名の方が参加されました。

最初に、日本の高齢化率が世界に比べて非常に高く、高齢化社会における歯科医師や歯科衛生士の活動が注目されており、歯科衛生士は、生涯を通して口腔の問題に苦しむことなく人生を楽しめる

ようにする口腔健康管理を担っている職種であることをお話しされました。

続いて本題に入り、4大認知症における食支援のアプローチについてそれぞれの工夫を解りやすくご説明いただきました。「アルツハイマー型」では失認・失行があるため、情報量を少なくし、井物やワンプレート、手づかみで食べられる物、また少量で回数を多くするのも一つの方法であることなど、お口から食べられるように支援する事は、その方の症状に合わせて食事の摂取方法を考えるように能率よく栄養を摂取していただくか



金子 信子 氏



が重要であるとのご講演でした。そして「支援する方が最期に何を食べたのか、少しでも好きなものが食べることができたらいいな!」という最後の言葉が心に残りました。

今回のご講演で得た知識や学んだことを、今後の活動や業務に生かしていただきたいと思います。また歯科衛生士視点の食支援を多職種や一般の方々に受講していただいたことで、今後もそれぞれの地域で連携を強化し更なる拡がりを期待しています。

兵庫県歯科医学大会 歯科衛生士会 講演会

専門研修

日時 令和3年9月12日(日)11:30~12:30
開催方法 配信型

「第一次予防法としてのフッ化物を うまく活用しよう」

永目 誠吾 氏
歯科医師
梅花女子大学大学院 看護保健学科 口腔保健学部 元教授

第36回兵庫県歯科医学大会において、歯科衛生士会講演会が開催され、歯科医師および歯科衛生士は会員内外から114名の方が参加されました。

永目先生より、健康日本21(二次)の骨子には「歯・口腔の健康に関する生活環境及び社会環境の改善」が明記されており、第一次予防(発症予防)で

「フッ化物」は非常に重要であるとして、さまざまな観点からお話しされました。う蝕の病因論(疫学)、歯科に係る法律、う蝕による死亡例からデンタルブラーク中の細菌数、唾液の効能にいたるまで幅広い内容でした。

「フッ素」は劇物であるが、「フッ化物」は濃度を守れば安全であり、う蝕予防



永目 誠吾 氏

のエビデンスレベルが最も高いツールとして70年以上にわたり世界で利用され、う蝕の減少に貢献してきた。そのため、臨床の現場でいかに応用するか、さらにこれからは個人から地域への応用、特に高齢者に対する取り組みが必要であると、地域保健活動の進め方の説明で締め括られ講演会は終了しました。

口腔機能管理研修会

専門研修

日時 令和3年9月26日(日)10:00~16:10
開催方法 配信型

「その食形態は対象者の口に合っていますか? part2」

牧野 日和 氏
愛知学院大学 心身科学部健康科学科准教授・言語聴覚士

昨年、対象者の口に合わせた食形態の選択についてご講義いただき大好評であった牧野先生に、演習を含めた学びを深めたいと再度講師をお願いして集合型の研修の準備を進めていましたが、緊急事態宣言が延長となり今年も完全リモートでの研修会となりました。先生には、2年にわたり愛知県から摂食嚥下に関わる多くの知識を丁寧にわかりやすくご講義いただきました。

午前中の2時間は先生ご自身が「スバルタコース」と名付けられ、摂食嚥下のメカニズムを細かく、詳しく、丁寧にノンストップで教えていただきました。パソコンの画面で見ると喉頭部の写真はリモートならではの鮮明さで目の前で細かい部分まで見ることができ、先生の動かされるマウスの動きも詳細にとらえることができ理解を深めることができました。

午後からの講義は新たな知見や会員



牧野 日和 氏

からのパブリックコメントを受けて改訂となった「日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2021」について詳しくご講義いただきました。また、演習も交えていただき、受講者にリアルタイムで演習の結果をチャットで答えてもらうなど工夫を凝らして下さったことで反応の見えにくいうリモート研修が参加型の有意義な時間となりました。

第2回歯科衛生士復職支援講習会

実習

日時 令和3年10月17日(日)9:30~12:30
場所 神戸常磐大学(神戸市)

講義

「歯周基本治療について」 破魔 幸枝 氏

実習

「PMTC」 小松 陽子 氏 (姫路歯科衛生専門学校 歯科衛生士)
「プロービング検査」 破魔 幸枝 氏 (神戸常磐大学 口腔保健学科 歯科衛生士)
「超音波スケーラー」 織田 千恵 氏 (兵庫県立総合衛生学院 歯科衛生学科 歯科衛生士)

ひょうご歯科衛生士人材センターの紹介・求職相談

高見 美佳 (ひょうご歯科衛生士人材センター 相談員 歯科衛生士)



超音波スケーラー



プロービング検査



PMTC

今年度の講習会はコロナ禍ではありますが、施設のご理解ご協力の下、集合型で実施できることとなり、8名の方が受講されました。

まずは破魔幸枝氏より、「歯周基本治療について」をテーマにご講義いただきました。歯科衛生士として、改めて正しい知識を習得でき、大変わかりやすい内容に皆さん一心に聴講されていました。

講義後は、3つのグループに分かれて「超音波スケーラー」、「プロービング検査」「PMTC」の3つのテーブルを、1グループが1か所30分間で実習を行いました。それぞれマネキンや顎模型を使

い、ポジショニングや基本操作を、とても丁寧に指導していただきました。実習室は、隣同士が抗菌のビニールシートで区切られており、普段の授業の感染対策の徹底を感じながらの座学や実習を通して、歯科衛生士の大切な業務である実技や知識のアップデートに繋がった、実り多い講習会になりました。

講習後は、高見美佳相談員から、「ひょうご歯科衛生士人材センター」の紹介と「兵庫県歯科衛生士センター」の案内をさせていただきました。今後も、復職される方の臨床での不安を解消できるよう、また悩み事や心配事を少しでも解決

できるように、講習会を開催していきたいと思っています。



指導風景